

東建パブリニュース

平成29年9月6日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成29年9月1日 日刊木材新聞 P. 1

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

出店強化や付加価値マンションに注力

ナスラックでは設備投資を実施

東建コーポレーション

東建コーポレーション（名古屋市中区、左右田総社長）は8月29日、東建グループ経営戦略報告会を東建多度カントリッククラブで開き、今期の経営戦略などを説明。商品戦略では都市部向けや女性専用の賃貸マンションを開発するほか、子会社のナスラックでは主力商品のリニューアルと生産拠点への制震フレーム専用ライン増設を明らかにした。

今期の経営スローガ「出店・移設戦略」を現状比20%増に引き上げ、新しい価値の創造は「新しい価値の創造」で、イノベーションにより新商品や新たな仕組み・サービスを「守り」から「攻め」に転換して店舗数アップや、セキュリティ



今期の戦略を部門別に説明した

レームを併用した制震。アパート「シェルシリース」の開発も行「施設検査／ホームメイトリサーチ」の機能拡充とアプリ版の開発、スマートフォン版サイトの制作などを進める。ナスラックは、2017年4月期決算で売上高24.7億円、従業員数413人の規模に達し、営業

拠点として全国に4支店（8営業所、生産拠点5工場）を構えている。今期戦略では、主力のシステムキッチン及び室内建具をリニューアルして来年2月の発売を予定し、前年比20%増の販売拡大をねらっている。

また、NK深谷工場（埼玉県深谷市）に約2億円を投じて制震フレーム専用ラインを増設し、8戸仕様アパート想定で月間36棟の生産能力を持たせる。稼働開始は来年1月を予定している。

以上